



文部科学大臣賞

「ごはんわたし」

栃木県足利市立けやき小学校二年

川田 詞音

「みんなと食べるとおいしいね。」

わたしのかぞくは六人です。でも、毎週月曜日になると十人になります。近くにすんでいる、ひいおばあちゃんたちのいえにあつまって、みんなでいっしょにごはんを食べます。

さいしよにできたてホカホカの一ばんおいしいところを、ほとけさまのひいおじいちゃんによそってあげます。ひいおじいちゃんはごはんが大すきだったから、ごはんをもつて行くとしやしんがニコニコしているように見えます。そのあと十人そろって

「いただきます。」

もう一つかならず言うことは

「みんなと食べるとおいしいね。」

八十四才のひいおばあちゃんがニコニコしながらい

つも言います。わたしもそのあとにつづいて言います。そうすると、とてもところがあつたかくなります。ごはんがもつともつとおいしくかんじられます。

テーブルの上には、にわでとれたやさしいたちが、いろんなりょうりにへんしんしていきます。わたしも、ひいおばあちゃん、おばあちゃん、お母さん、おねえちゃんたちといっしょにりょうりを手つだいます。だんだんいいにおいができて、ごはんを食べるのがとてもまちどおしくなります。

さいしよは食べれなかったものも、おいしいピカピカごはんがあると、いまではなんでも食べれるようになりました。だからわたしは月曜日が大きいです。

「みんなと食べるとおいしいね。」

のことばを聞くのも、とつてもうれしい。ごはんを、もつともつとおいしくしてくれる、まほうのことばみたいですよ。こうゆう日がずっとずっと、ひいおばあちゃんが百才になつてもつづけばいいなあと思います。

ごはんをみんなで食べられることは、わたしの一ばんの元気のもとです。